

〒143-0061 東京都大田区石川町1-14-11
グリーンヒルズ大岡山102号

Tel. 03-6421-8320 FAX 3728-5071
Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 淵上 利和
編集人 高山 浩

2013年
4月1日
第333号



http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

不誠実な回答に終始した会社

課題残しつつも交渉を集約

2013JR春闘

2013 JR春闘で、JR東海労は①ベースアップ2000円、②定期昇給の経過年数による減額撤廃と基準昇給額一律1500円、③夏季手当3ヶ月分、④5万円分の商品券、⑤65歳定年制と54歳以上の原則出向廃止、⑥専任社員の雇用条件、労働条件の改善、⑦諸手当改善、⑧休日出勤解消、年休完全取得、⑨職場問題の解決等、を柱とした要求を『申請第30号』として会社に提出して以降、全組合員で闘ってきました。団体交渉は再申し入れを含めて、計7回行いました。

JR東海の平成24年度第3四半期決算(連結)は過去最高を更新、1兆9327億円といわれる内部留保、一人平均550万円という超高額な役員報酬という条件において、本部は満額を支払える能力は充分あることを主張しました。

しかし、会社は「当社の賃金水準は高い。賃上げは業績だけで決まるものではなく、景気動向、世間相場や動き、当社の賃金水準などを勘案する。現段階ベアを実施する合理的理由がない」として、組合員の切実な要求に耳を傾けることはありませんでした。

また本部は、差別のために導入された「専任V」の撤回を強く主張しました。これに対しては「会社は、法律で許されている経過措置を使うのは当然」「従前の継続雇用基準に該当しない者を雇用するのだから、基準をクリアしたものと、そうでない者とは処遇上の区別が必要」「専任Vの対象とする者の基準は、決められていることを普通に言えばクリアできる」と等と回答し、差別を正当化したのです。

本部は、粘り強く交渉を強化してきましたが、ベアゼロ、夏季手当2.95ヶ月の会社回答を他労組が先行妥結する中において、要求の前進は勝ち取る事ができないとして、3月25日妥結しました。なお、「専任V」に該当する「基準(49歳以下)

降の10年間にボーナスカット5回以上等」が記載された「議事録確認(案)」については締結を拒否しました。

この春闘期間中、職場や地域から様々な闘いを展開してきました。新幹線地本は各種原発撤廃に向けた集会などへの参

加、連続した朝ビラ配布行動、各裁判闘争など、静岡地本はオスプレイ配備反対などの反戦・平和の闘い、名古屋地本は掲示板設置三重県労働委員会への申立など、新幹線関西地本は再雇用拒否を受け裁判闘争で勝利した全日本金属情報機器労働組合大阪地本・津田電気計器支部との交流など、創意工夫した闘いを展開し、組織強化を勝ち取ってきました。全組合員の皆さんに、紙面を借りて闘いに対する御礼とします。

一昨年に劇場公開された「フエア・ゲーム」という映画を「ご存知だろうか」ブッシュ政権が大量破壊兵器の存在をデッチ上げてイラク戦争に踏み切り、それを批判した元外交官にメディアを使つて様々な圧力をかけた事実が描かれている▼アメリカの嘘で固められ、国連さえ認めなかったこの戦争に、フランスもドイツも反対したが、イギリスのブレア政権と日本の小泉政権は積極的に支持した事実は忘れてはならない▼そのブレア首相は国民から批判され任期中で辞任を余儀なくされたが、イラク戦争に初めて自衛隊を派遣した小泉総理は辞任に追い込まれる事もなく、ダーティな戦争に加担した責任も追及されていない▼「開戦時には証明する情報がない」にしても大量破壊兵器の存在が否定された時点で、日本の対応の是非は根本から見直す必要があった▼日本は「人道復興支援」という理由で自衛隊を派遣したが、その名目で現地に派遣された外務省の奥克彦氏は、戦争はテロとの戦いでもイラクの民主化のためでもなくアメリカの石油支配のためだと報告し、その後襲撃に遭って殺害されている▼イラク開戦から10年、真実を見極めて、憲法9条を守り抜こう。

伊勢運輸区に掲示板を設置せよ！ 三重地労委に不当労働行為救済申立！



て、三重県労働委員会に救済申立を行いました。

昨年3月17日、会社による一方的な紀伊長島駅乗務員配置廃止により、不当にも組合員3名が伊勢運輸区に強制配転させられ、紀伊長島駅における組合員が撤去されました。ただちに会社に伊勢運輸区に組合員掲示板の設置申請を行いました。が、申請を却下したので、そして、本部、名古屋地本、三重県協議会も、この件に関し団体交渉、業務委員会の申し入れを行ってきましたが、会社は「付議事項に当たらない」などとして交渉すら行いませんでした。

名古屋地本は同日、「掲示板設置三労委」闘争勝利！総決起集会を開催し、全組合員で闘うことを意思統一しました。



名古屋地本は3月25日、伊勢運輸区に対する便宜供与拒否(組合員掲示板の設置拒否)及びそれに対する団体交渉拒否は不当労働行為であると申し立てました。

名古屋地本は3月25日、伊勢運輸区に対する便宜供与拒否(組合員掲示板の設置拒否)及びそれに対する団体交渉拒否は不当労働行為であると申し立てました。

名古屋地本は3月25日、伊勢運輸区に対する便宜供与拒否(組合員掲示板の設置拒否)及びそれに対する団体交渉拒否は不当労働行為であると申し立てました。

職場から春の闘いを構築しよう!

2013春闘セミナー開催

3月3日、JR東海労は東京浜町で2013春闘セミナーを開催しました。セミナーには組合員100名が参加しました。



主催者を代表して淵上委員長は「東日本大震災から丸2年、マスコミは福島第一原発事故の現状を報道しない中で、金儲けのために原発再稼働を進める政府自民党の犯罪性を、私たちが広めていかなければならない」と訴えました。

講演として、福島第一原発で働く労働者より「3・11当日、福島第一原発では地割れが起き、配管から水が吹き出していた。約7000人の作業員が働いていたが安否は不明」「被爆に対する保証も曖昧」等、貴重な体験談などがリアルに報告

された。講演を受けたの質疑では、東電や政府に対する怒りの声や、原発廃止に向けた決意などが相次ぎました。

嶋田一味の不当な主張を認める 損害賠償等請求不当判決!

撤回裁判の意義と教訓について、木下副委員長が「当面する春の闘いについて」それぞれ行いました。

3月27日、損害賠償等請求本訴事件、同反訴事件で、東京地方裁判所(大竹昭彦裁判長)は原告に

判決を言い渡しました。「スパイ呼ばわりは名誉毀損だ」として反訴していた嶋田一味の主張を全面的に認めたのです。

この裁判は、嶋田一味9人に対し、「43人革マル派リスト」なるデッチ上げ資料を記者会見の場でばらまき、更にデータメ記事を書き続けてきた西岡研介を通じて『週刊現代』に記載させたのは名誉毀損だとして、2008年9月22日に提訴した事件です。故松崎明さんを筆頭に、JR東海労

では船戸秀世さん、伊藤明男さん、舟山守夫さん、京力正明さんが43名の原告団の一員として闘ってきました。



という趣旨で訴えを退けています。逆に、嶋田一味をスパイと決めつけたことが名誉毀損に当たるとした嶋田一味の主張を受け入れ、原告団の仲間

強制出向延長は不当だ! 強制出向延長取消裁判で山本さん陳述

に損害賠償の慰謝料支払いを命じたのです。JR東海労は、31日に糾弾訴訟判決報告集会を開催し、最後まで闘うことを意思統一しました。



3月19日、東京地方裁判所で、強制出向延長取消裁判第1回口頭弁論が開かれました。原告の東京地区分会・山本修さんは、「出向期限終了前にJR本体への勤務を希望したにもかかわらず、同意なしで一方的に会社が出向延長を強制したのは

田城議員 便り



「花と希望を届ける3・8行動」に参加することができました。私は、宮城県東松島市の「矢本運動公園仮設住宅」にお邪魔して、一軒一軒花を届け、様々な話をお聞きしました。一番多かったのは、「鉄道を早く復旧させてほしい」という声でした。「仙台の病院に

行くために3回4回と乗り継がないとならない。年寄りの身にはつらい」「以前は仙台駅で親が鉄道に乗せ、東松島で私が迎え、小さい孫が頻繁に遊びに来てくれた。今は、全く来ることができな

い。生きがい失われた」「通学がバスだと大幅に時間確保にも苦労する」等、交通弱者と言われている年齢層に大きな影響が出ていることを改めて実感しました。

この地域は仙石線が2年後に鉄道復旧が決定しており、もう少しの辛抱です。しかし、大船渡線、気仙沼線、山田線等は、高台移転など含めた街づくり等諸条件との関連する側面もあるので、決定には時間がかかることも現実です。しかし被災した線路はいずれも同じ状況です。一日も早い鉄道の復旧を目指さなければなりません。

一方、先日の『毎日新聞』のトップで「線路かさ上げに国費：復興後押し」という記事が掲載されました。国交省・復興庁が、線路のかさ上げ部分に予算付けをする方向性だという主旨のものです。これは、JR東海労組が交運協の協力も得て、地域住民の皆さんと共に40万筆を超える署名を集め、地域として鉄道を鉄道として復旧すべき

という強い意志を具体的に示した運動の成果であるといえます。また、「鉄道は、辿っていけば東京に繋がっている。繋がらなければ、見捨てられたも同然。何としても鉄道の復旧を!」という被災直後の釜石市民の皆さんの声を忘れるわけにはいきません。鉄道は、被災者にとつて心の支えであり復興への意欲の源泉なのです。もちろん、地域の足としての鉄道という役割と共に、日本国中を一本のレールで繋いでおくことが、地震・災害大国日本の国土設計上も必要であるといえます。JR東日本の英断が求められています。

全ての原発を廃止せよ! つながろうフクシマ! さようなら原発大行動



3月9日、東京明治公園で開催された「つながろうフクシマ! さようなら原発大行動」に、JR東海労はJR総連の仲間と共に、多くの組合員・OBで参加しました。

労働協約に違反だ。このまま出向が延長されると、54才原則出向の運用で退職まで出向となる。

会社の理不尽な姿勢を糾して頂きたい」と力強く意見陳述を行いました。